



平成28年度第2回自転車のまちつくば推進委員会

つくば市自転車安全利用促進計画アクションプラン

平成28年度 各施策の進捗状況

平成29年1月23日

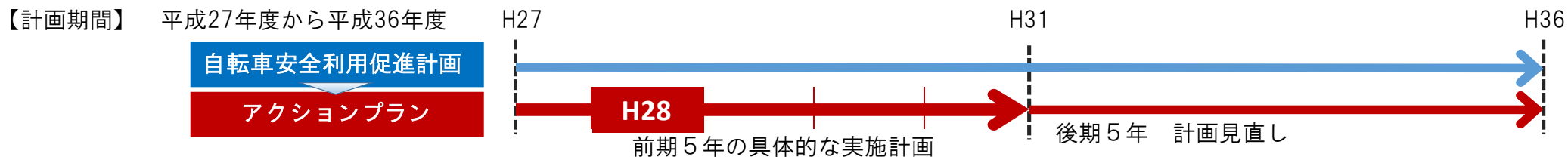
つくば市
企画部総合交通政策課



自転車安全利用促進計画の概要及び実施スケジュール

【目的】 環境にやさしく、健康づくりにつながる自転車の安全利用及びつくば市に適した自転車走行環境ネットワークの形成

【将来像】 ひと・自転車・クルマが共生できるまち つくば 〈安全で快適なりんりんつくば〉



【計画体系】

自転車安全利用促進計画	アクションプラン	
<p>基本目標1</p> <p>自転車の安全利用につながる意識づくり</p>	<p>＜施策の方向性1＞ 自転車安全利用を促すための教育の充実</p> <p>＜施策の方向性2＞ 自転車の安全な利用を見守る社会の構築</p>	
<p>【施策1】 ライフステージに応じた自転車利用等の交通安全に関する教育の促進</p> <p>【施策2】 自転車安全利用を促す啓発活動</p>	<p>【施策3】 連携・協働による自転車安全利用促進体制の充実</p> <p>【施策4】 自転車安全利用教育を応援する体制の構築</p>	
<p>基本目標2</p> <p>安全で、快適に自転車で走ることができる環境づくり</p>	<p>＜施策の方向性3＞ 自転車走行環境の形成</p> <p>＜施策の方向性4＞ 自転車を快適に利用できるサービスの構築</p>	<p>【施策5】 歩行者・自転車等の通行環境の整備・充実</p> <p>【施策6】 駐輪場の整備と放置自転車の対策</p> <p>【施策7】 サイクリングを楽しむためのサービス環境の充実</p> <p>【施策8】 公共交通と連携した自転車利用の促進</p>
<p>基本目標3</p> <p>環境にやさしく健康に役立つ自転車を楽しむまちづくり</p>	<p>＜施策の方向性5＞ 環境にやさしい自転車利用の促進</p> <p>＜施策の方向性6＞ 健康づくりにつながる自転車利用の促進</p>	<p>【施策9】 温室効果ガス排出量削減を目指した行動の拡大</p> <p>【施策10】 交通手段転換へのサポートの充実</p> <p>【施策11】 健康づくりを目指した自転車利用の充実</p> <p>【施策12】 自転車を活用した健康づくりを応援するサービスの充実</p>

ひと・自転車・クルマが共生できるまち つくば
 へ安全で快適なりんりんつくばへ

ライフステージに応じた自転車利用等の交通安全に関する教育の促進

【施策1】ライフステージに応じた自転車利用等の交通安全に関する教育の促進

メニュー1：小学生のための自転車利用等の交通安全に関する教育

メニュー2：中学生のための自転車利用等の交通安全に関する教育

メニュー3：高校生のための自転車の安全利用に関する教育

メニュー4：保護者のための自転車利用等の交通安全に関する教育

メニュー5：高齢者のための自転車利用等の交通安全に関する教育

課題

～前年度実績・前回委員会意見から～

- 高校生，大学生・社会人・保護者などの大人へ対策

平成28年度の実施状況

＜小・中学生，高齢者＞

学校やシルバークラブなどで自転車の安全な乗り方などを学ぶ交通安全教室を実施

夏休みこども交通安全教室（市役所）



スケアードストレート技法を活用した交通安全教室（大穂中学校）



＜高校生，大学生＞

- ・警察署や市による交通安全教室を実施
- ・つくば市中学校長・高等学校長協議会を通じて、損保協会などが行う各種安全教室の情報を提供

＜保護者＞

こどもと保護者を対象にした交通安全教室を実施
（交通安全母の会）



自転車安全利用を促す啓発活動

【施策2】自転車安全利用を促す啓発活動

メニュー1：自転車安全利用サポーター制度

メニュー2：幼児2人同乗用自転車購入費補助事業

メニュー3：自転車保険加入促進事業

メニュー4：自転車ヘルメット利用促進事業

課題

～前年度実績及び前回委員会から～

- 安全利用サポーター制度の実現に向けた検討
- ヘルメットの着用促進・保険加入促進

平成28年度の実施状況

<安全利用サポーター制度>

見守り・交通安全指導などを行う地域ボランティアとの連携可能性を検討中

小野川小学校SANPO活動



(SANPOは「Safety Assistant Network Project in Onogawa」の略)

<ヘルメット着用促進・保険加入促進>

- ・交通安全キャンペーン等で日本損害保険協会の保険加入啓発チラシを配布
- ・まつりつくばなどのイベントで“かっこいいヘルメット調査”を通じた着用啓発

日本損害保険協会チラシ



(表)

(裏)

“かぶるならどっち”調査結果



連携・協働による自転車安全利用促進体制の充実

【施策3】 連携・協働による自転車安全利用促進体制の充実

メニュー1：自転車の安全利用を促進するためのコンソーシアム

平成28年度の取組状況

<高校・大学との連携・協働>

並木中等教育学校：【新】つくば市中学校長・高等学校長協議会を通じて市内各校へ情報提供

筑波高校：独自カリキュラム『体験的地域学「つくばね学」※1』との連携可能性を確認

※1 長期的に生徒が学校外に出て、地域の人たちとの触れあいの中で、自己の生き方・在り方を考えていく学習形態として注目されている。

筑波大学：・公益財団法人日本交通管理技術協会が指定する「自転車通学安全モデル校」に再指定（H28.11.1）



自転車通学を行うにあたり、自転車の安全利用や自転車事故防止を図るため、他の模範となる活動を行っている学校を「自転車通学安全モデル校」に指定しています。

公益財団法人日本交通管理技術協会HPより

筑波学院大学：【新】独自カリキュラムOCP活動※2と連携“セグウェイを活用した自転車走行環境パトロール”を開始

- つくばモビリティロボット実験特区の活用
- 既に行っている吾妻小学校下校児童の見守りに加えて、放置自転車やルールを守らない利用者などの巡視を新たに実施

※2 OCPとは、Off Campus Programの略。この活動では、学外でのフィールド活動を、活動報告会や地域の協力者であるアドバイザー会議を通してフィードバックしながら地域の課題発見や課題解決につなげることを目指している。



セグウェイを活用した自転車走行環境パトロール

課題

～前年度実績及び前回委員会から～

- コンソーシアムの基礎となる関係者との協働・連携体制づくり

つくばね学パンフレット



茨城県立筑波高等学校 〒300-4231 茨城県つくば市北条4367 TEL：029-867-0041

筑波高校HPより

施策4

自転車安全利用教育を応援する体制の構築

【施策4】 自転車安全利用教育を応援する体制の構築

メニュー1：メニュー1：自転車安全利用教育に携わる指導者の育成

課題

～前年度実績及び前回委員会から～

- 施策2「安全利用サポーター制度の実現に向けた検討」との一体的推進

平成28年度の実施状況

<学校・地域との体制づくり>

小野川小学校の活動など、既に行われている取組や体制をいかす方向で検討中

【小野川小学校の交通安全教育】

自転車通学の児童数：65名（平成28年度の全児童数の約2割）

JARIの交通安全教育研究と連携

- * 保護者が教育担当者の役割を担い、自らの子供に教える
- * 保護者が一定の知識と技量を持ち、交通安全教育の持続性を高める

交通安全教室(2年生)



小野川小学校HPより

子どもの見守りを交通安全教育につなげるSANPO活動

- * JARIとの連携をベースに2014年からSANPO活動をスタート
(SANPOは「Safety Assistant Network Project in Onogawa」の略)
- * 活動内容
 - ・ボランティアによる登下校児童の見守り（危険行動には指導も）
 - ・危険な場所・子供の行動、不審者などを学校・警察に連絡
 - ・小野川小学校の交通安全教室への協力
- * 参加者数 30数名（高齢の方が中心）



小野川小学校区でのSANPO 活動のようす

歩行者・自転車等の通行環境の整備・充実

【施策5】歩行者・自転車等の通行環境の整備・充実

メニュー1：生活に密着したエリアの自転車走行空間の整備

メニュー2：交通拠点への安全・安心なアクセスルートの整備

メニュー3：長距離を安全に楽しく自転車走行できるルートの整備

メニュー4：ペDESTリアンデッキ整備

課題

～前年度実績及び前回委員会から～

- アクションプラン及び国の「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」（H28.7改訂）を踏まえた整備計画
- 葛城地区ソーラーシェルター付き自転車歩行者専用道の整備

平成28年度の取組状況

<整備計画検討>

アクションプラン及び国の「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」（H28.7改訂）に基づき、「つくば市自転車走行空間ネットワーク計画」策定に向けて検討中



市内自転車専用レーン



ネットワーク整備計画 イメージ

<葛城地区ソーラーシェルター付き自転車歩行者専用道>

総延長：548m

発電容量：38.95kW

発電開始：H28.10

供用開始：H29.3(予定)





施策6

駐輪場の整備と放置自転車の対策

【施策6】 駐輪場の整備と放置自転車の対策

メニュー1：自転車等放置禁止区域における環境改善事業

メニュー2：自転車等駐車場の附置義務の施行

メニュー3：リサイクル自転車活用事業

課題

～前年度実績及び前回委員会から～

- 自転車等放置禁止区域における自転車撤去
- 開発や建築時における自転車駐輪場付置義務の指導
- 自転車商組合との協力のもと自転車リサイクル推進

平成28年度の実績状況

<放置自転車撤去>

禁止区域において撤去を実施。



つくば駅周辺自転車等放置禁止区域



研究学園駅周辺自転車等放置禁止区域

<自転車リサイクル推進>

つくばサイエンスラボ2016において、自転車商組合（筑波支部）がリサイクル販売を実施



つくばサイエンスフェスティバル2016 リサイクル販売ブース

サイクリングを楽しむためのサービス環境の充実

【施策7】サイクリングを楽しむためのサービス環境の充実

メニュー1：中心市街地の駐輪場の活用事業

メニュー2：休憩施設や自転車用無料空気入れなどの設置事業

メニュー3：シャワー施設や自転車修理等の情報提供事業

メニュー4：パーク&サイクルライド推進事業

課題

～前年度実績及び前回委員会から～

- 茨城県の水郷筑波サイクリング環境整備事業との連携

平成28年度の実績状況

くいはらき自転車サポートステーション※>

- ・くいはらき自転車サポートステーションに新たに2施設を追加

①つくばウェルネスパーク
(つくば市山木1562)



②小田城歴史ひろば案内所
(つくば市小田2377)



- ・自転車のまちつくばwebサイト「つくば市サイクリングガイド」の立ち寄りスポット紹介ページに，“くいはらき自転車サポートステーション”施設を追加



※くいはらき自転車サポートステーションとは

自転車を利用する人が、雨宿りをする場所やトイレ、自転車工具など無料で提供してもらえる施設。筑波山麓と霞ヶ浦湖岸の道路を一体とした総延長約180kmのサイクリングコース「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を設定し、日本一のサイクリング環境の整備を掲げる茨城県が、自転車愛好者の来県を促そうと店舗・施設の協力のもとで設置を進めています。

公共交通と連携した自転車利用の促進

【施策8】公共交通と連携した自転車利用の促進

メニュー1：交通拠点に付設した駐輪場整備事業

メニュー2：自転車積載バス運行事業

メニュー3：サイクルシェアリング事業

メニュー4：レンタサイクル事業

課題

～前年度実績及び前回委員会から～

- 研究学園駅自転車駐車場の拡張
- レンタサイクルの拡充

平成28年度の実績状況

<研究学園駅駐輪場の拡張>

- ・ 設計完了
- ・ 平成29年3月完成予定

施設名	現状			拡張規模	拡張後	
	収容台数	利用台数	利用率		収容台数	利用率
東側駐輪場	141台	265台	188%	50～80台	190台～230台	約85%
西側駐輪場	340台	370台	109%	約200台	約640台	

<レンタサイクル>

会員登録型の都市型レンタサイクルシステムの導入を目標として明示（市長公約）



研究学園駅西側駐輪場の現在の状況



拡張予定箇所

温室効果ガス排出量削減を目指した行動の拡大

【施策9】 温室効果ガス排出量削減を目指した行動の拡大

メニュー1：エコ通勤促進事業

メニュー2：温室効果ガス排出量削減促進事業

課題

～前年度実績及び前回委員会から～

- 「エコ通勤・エコドライブウィーク」 広報活動の強化

平成28年度の実績状況

<エコ通勤促進>

- ・秋のエコ通勤・エコドライブウィーク（10月19日～11月2日）においてキックオフイベントを実施

【キックオフイベント第2部、自転車通勤促進セミナー】

演 題 エコな自転車通勤と企業の健康経営
～環境・健康の大きなメリットをどう生かすか～

講 師 株式会社三井住友トラスト基礎研究所
研究理事 古倉 宗治 氏

参 加 者 つくば環境スタイルサポーターズ会員 約25名（個人会員・事業所会員）




秋のエコ通勤・エコドライブウィーク

運動の秋に自転車通勤！&エコドライブで燃費向上しませんか？

10月～つくばバスが変わる！
①ICカード利用開始！
②IC（ICカード）乗車システム開始！

エコドライブで目指せ
10%燃費向上！！

平成28年10月19日（水）～11月2日（水）
提出※切11月18日

COOL CHOICE 行動別

- ・飲み会の日は同乗と相乗りしてみる
- ・普段車で行くコンビニ・スーパーに歩いて行ってみる
- ・運動を兼ねて自転車を使用する
- ・つくバス、つくタクを利用してみる
- ・ふんわりアクセルなどやさしいエコドライブをしてみる

参加するには、行動後にアンケートにご回答ください！→→

URL: <http://www.city.tsukuba.ibaraki.jp/14215/14284/9593/019460.html>

エコ通勤・エコドライブキックオフセミナー
エコドライブ講習会&自転車通勤促進セミナー

【日時】平成28年10月17日（月）14時～16時30分
【場所】つくば市消防庁舎3階 多目的ホール
（駐車場はつくば市役所お客様駐車場をご利用ください。）
【内容】第一部 一般社団法人 日本自動車連盟（JAF）事業課 交通環境係長 田田 龍 様
「エコドライブ講習会」
第二部 株式会社三井住友トラスト基礎研究所 研究理事 古倉 宗治 様
「エコな自転車通勤と企業の健康経営」
【参加方法】①お名前とお電話番号をサポーターズ会員番号（会員の場のみ）を
メール igp010@info.tsukuba.ibaraki.jp
又は、029-883-1241 までご連絡ください。

入場無料
（事前申込制）

定員
80名

問 つくば市スマートシティ推進課 つくば市研究学園一丁目1番地1 電話:029-883-1111（代）

交通手段転換へのサポートの充実

【施策10】 交通手段転換へのサポートの充実

メニュー1：クルマから自転車へのモビリティマネジメント事業

メニュー2：自転車とバスを連携した利用促進事業

メニュー3：バス×りんりんつくばオデカケキャンペーン

課題

～前年度実績及び前回委員会から～

- バス事業その他の関係者との連携

平成28年度の実施状況

<既存バス停への駐輪スペース確保>

公共交通と自転車移動をつなぐために、幹線バス停に駐輪スペースを整備していくことを明示
(市長公約)

<エコ通勤促進（再掲）>

・秋のエコ通勤・エコドライブウィーク（10月19日～11月2日）においてキックオフイベントを実施

【キックオフイベント第2部、自転車通勤促進セミナー】

演 題 エコな自転車通勤と企業の健康経営
～環境・健康の大きなメリットをどう生かすか～

講 師 株式会社三井住友トラスト基礎研究所
研究理事 古倉 宗治 氏

参 加 者 つくば環境スタイルサポーターズ会員 約25名（個人会員・事業所会員）



整備イメージ 既存バス停駐輪スペース

健康づくりを目指した自転車利用の充実

【施策11】健康づくりを目指した自転車利用の充実

メニュー1：サイクリングマップの作成事業

メニュー2：自転車を利用したイベントの企画・支援

課題

～前年度実績及び前回委員会から～

- 自転車関係者等との連携

平成28年度の取組状況

<サイクリングマップの配布・イベント支援>

【サイクルモード2016】

「つくば霞ヶ浦りんりんロードPRブース」で、サイクリングマップを配布

－ブース出展：茨城県，協力：つくば市等沿線14市町村－

開催日 11月4日(金)，5日(土)，6日(日)の3日間

場所 幕張メッセ 1～4ホール

来場者 27,169人（一般，販売店，報道関係者の総数）



試乗も出来る、日本最大級のスポーツ自転車フェスティバル！
スポーツ自転車の最先端がここにある！

サイクルモード2016HPより

【つくばサイクルフェスタ2016】

大会参加選手にサイクリングマップを配布

“2019茨城ゆめ国体の自転車競技大会の成功”と“障害者スポーツとのコラボレーション”を目的とする自転車ロードレース大会

主催 茨城県自転車競技連盟

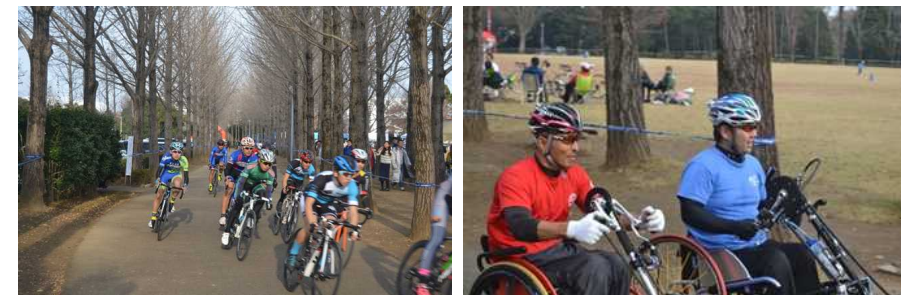
共催 つくば市

2019茨城ゆめ国体の自転車競技つくば開催を応援する会

開催日 12月4日(日)

場所 万博記念公園 特設ロードコース（1周1km）

参加選手 125名



レースの様子

自転車を活用した健康づくりを応援するサービスの充実

【施策12】 自転車を活用した健康づくりを応援するサービスの充実

メニュー1：サイクリング記録アプリの開発

メニュー2：健康サイクリング情報発信事業

課題

～前年度実績及び前回委員会から～

- 情報発信の継続・情報の更新

平成28年度の取組状況

<webサイト「つくば市サイクリングガイド」の機能・情報を更新>

○自転車位置表示機能の追加
スマホから現在地を確認する機能

○アクセス方法紹介ページの追加
市内サイクリングコース（8コース）・つくば霞ヶ浦りんりんロードまでのアクセス

○立ち寄りスポットの情報追加
いばらき自転車サポートステーション等





平成28年度の重点課題に対する施策の取組状況

重点課題1 自転車安全利用サポーター制度の実現に向けた検討

- 先進事例などを参考に自転車安全利用サポーター制度の検討を実施する。

施策2 自転車安全利用を促す啓発活動

施策4 自転車安全利用教育を応援する体制の構築

重点課題2 ヘルメットの着用促進/保険への加入促進

- イベントや講座などでヘルメット着用や保険加入を積極的にPRする。
(様々なヘルメットの展示や着用体験, 保険の専門家を招いた万が一の備えに対する講座など)
- 交通安全教室において「正しいヘルメットの着用方法」を指導する。

施策1 ライフステージに応じた自転車利用等の交通安全に関する教育の促進

施策2 自転車安全利用を促す啓発活動

施策4 自転車安全利用教育を応援する体制の構築

施策11 健康づくりを目指した自転車利用の充実

重点課題3 研究学園駅周辺の自転車利用環境の整備

- 研究学園駅の自転車駐輪場を拡張する(東側に50台～80台分, 西側に概ね200台分)。
- 学園の森にソーラーシェルター付自転車歩行者専用道路を整備する。

施策5 歩行者・自転車等の通行環境の整備・充実

施策7 サイクリングを楽しむためのサービス環境の充実

施策8 公共交通と連携した自転車利用の促進

重点課題4 関係各主体との連携促進

- イベントや保険加入促進等を通じて自転車利用に積極的な事業者や団体等との連携を促進する。
- 茨城県の水郷筑波サイクリング環境整備事業との連携を促進する。

施策1 ライフステージに応じた自転車利用等の交通安全に関する教育の促進

施策2 自転車安全利用を促す啓発活動

施策3 連携・協働による自転車安全利用促進体制の充実

施策4 自転車安全利用教育を応援する体制の構築

施策7 サイクリングを楽しむためのサービス環境の充実

施策11 健康づくりを目指した自転車利用の充実